



発行所 長野県下伊那郡高森町
下市田 高森町公民館
発行人 芦部 公一
編集 本館編集部
☎35-9416
印刷所 龍共印刷株式会社



食欲・スポーツ・読書・芸術の秋!



読書の秋

私の大切な二冊



中高生の頃からずっと、私の心に寄り添ってくれて、大切な本があります。

坂本司さんの『和菓子のアン』です。主人公は高校卒業後、進路を決められないままデパ地下の和菓子店「みつ屋」でアルバイトとして働き始めた女の子・アンちゃん。

大きな不満はないけれど、将来に強い希望があるわけでもない。そんな何者でもない自分に焦りや物足りなさを感じていた当時の私は、彼女の等身大の姿に深く共感しました。

作中でアンちゃんは、和菓子の奥深い世界や日常の小さな謎に触れ、少しずつ成長していきます。進学も就

職もせず和菓子店で奮闘する日々が、正解は分からないけど、すぐに結論が出なくてもいい。そう割り切り、後になってみないとわからないからこそ、目の前の事に一生懸命向き合う彼女の姿に、私は何度も元気をもらいました。

あまり馴染みのなかった和菓子の由来が、鮮やかなミステリーとして解き明かされていく過程も痛快で、ページをめくる手が止まりません。



坂本司『和菓子のアン』 光文社文庫

スポーツの秋

第52回全日本竜川カヌー競技大会



8月23日(日)に竜川で開催された今大会に、ボランティアとして参加しました。

午前8時30分はたのパークに集合し、もう1名のボランティアの方と共に、役場の方から説明を受けました。私たちは選手のバス移動の誘導、通過確認を依頼されました。

9時から開会式が行われ、町長はじめ関係者のあいさつが続きます。今回は全国から100余名の参加とのことでした。

9時20分頃、選手のバス移動が始まり、役場の方の運転する車両へ誘導しま

す。私たちは明神橋へ移動し、選手が全員ここを通過するのを監視します。一斉スタートではなく、1分ごとに1艇出発しました。レスキューカヌーも待機し選手を待ちました。

10時15分頃、最初の1艇が見えました。ドキドキしました。肉眼と双眼鏡で選手の手をゼッケン番号を確認し、記録をする役場の方へ伝えました。波をかき分け力強くパドルを漕ぎ、次々と艇が通過していきます。選手が「おーい」と声をかけてくれ、私たちも「おーい」と手を振り声援を送りました。

長野県では2028信州やまなみ国スポ・全障スポが行われます。国スポとは国民スポーツ大会の略称、全障スポは全国障害者スポーツ大会の略称で、毎年都道府県持ち回りで行われる国内最大のスポーツの祭典です。高森町ではビーチバレーボールとカヌースラロームワイルドウォーターの国スポ開催地となりました。今回ボランティアとして参加させていただき、カヌーがより身近に感じた1日になりました。2028年高森町で選手の皆さんの熱い戦いが見られることを今から楽しみにしております。

(副編集部長 市澤由美子)

食欲の秋

今が旬!

高森町の農産物



この本は温かく背中を押してくれます。世代を問わず、日々に少し疲れたすべての方に手に取ってほしい、優しい美味しさに満ちた名作です。

『和菓子のアン』シリーズは高森町立図書館でも借りることが出来ます。秋の夜長にぜひ手に取ってみてください。

(下市田五区分館編集部員)

秋は、気候が涼しくなり食欲が増し、美味しい食べ物がたくさん楽しめる季節です。中でも信州のりんごは、昼夜の大きな寒暖差と長い日照時間により、甘みが強く、蜜が詰まった高品質な果実が育つ全国屈指の産地です。高森町でもりんごの果樹園が多く、種類も豊富で、品種によって収穫時期が異なり、8月上旬から12月下旬まで味わえます。選果場では大きさ、等級毎に仕分けられ、赤い大きな美味しそうなりんごが

たくさん流れてきます。静岡県御前崎市で開催される大産業まつりでは、友好都市である高森町も特産品のりんごを販売、出店しています。大人気を集めており、会場では毎年長い行列ができる名物となっています。自分も一緒に買っていただいたことがあり、その時も大勢の方々が並び、くださり、午前中には予定数完売でした。食欲の秋にはりんごはぴったりな一品です。

(新田分館編集部員)

芸術の秋

高森町公民館文化祭・手作り体験教室を開催します



【高森町公民館文化祭】

今年は16団体・個人の作品を展示します。日頃の活動の成果をぜひご覧ください。

会場…高森町中央公民館2階 大会議室・会議室1・会議室2

展示期間…10月22日(木) 10月24日(土)

展示時間…8時30分 21時30分

注意事項…監視員・受付員は配置しておりません。作品に触れないようご鑑賞ください。

【手作り体験教室】

子どもたちが楽しめる工作体験ブースを、ふるさと祭りに出展します。参加費無料です。ぜひ遊びに来てください。

会場…高森町民体育館1階 研修室

日時…10月24日(土) 時間…9時~16時

内容…描いて楽しい!付けて嬉しい!オリジナル缶バッヂづくり

#カメラロールの1枚

ペンネーム: うめこ

こんなに綺麗な虹を見るのは久しぶりです。

みなさんのスマートフォンやカメラに残る何気ない日常の1枚を掲載しませんか?上記二次元コードからお気軽にご応募ください!お待ちしております。



地域の話題 あれこれ

第33回下市田二区
納涼祭

地域での出来事

7月11日(土) 下二会館広場
及び駐車場にて、「第33回下二
納涼祭」が盛大に行われました。

午後2時から準備を開始し、
午後5時から開会式で納涼祭が
始まりました。出演団体とし
て、木遣り喇叭保存会・紅華太



鼓・久高氏和太鼓・ブチエンジン
・高森ニューサウンズさんと
豪華なメンバーで各々演奏をし
ていただきました。皆さんの熱
のこもった演奏に拍手が鳴りや
まず、とても有意義な時間とな
りました。

駐車場では共星会が主体とな
り、焼きそば・焼き鳥・フラン
クフルト・綿菓子・かき氷・射
的、暑さを忘れ多くのお客様の
対応に追われていました。

また、中学生ボランティアを
募集したところ6名の方に参加
していただき、当日の受付・飲
み物販売・役員への夕食配布手
伝い等、手伝いをしていただき
大変助かりました。

最後に、受付で抽選箱に提出
された券より自治会長が抽選を
行う「お楽しみ抽選会」があり、
各賞ごとに大変盛り上がりまし
た。

開始から約2時間半と短い時
間ではありましたが、多くの皆
さんが楽しい時間を一緒に過ご
すことができました。

第36回
平和へのかけはし使節団
〜広島で学んだこと〜

実際に参加してみよう

高森中学校3年
原 明花

私が広島に行く前は、教科書
に書かれている戦争の記録はど
か簡潔で、私にとってあまり現
実味がありませんでした。しか
し

今回平和へのかけはし使節団に
参加し、実際に広島を歩み、
私のその感覚は大きな間違いだ
たと気付かされました。

広島は「普通」の街だっ
たこと。その景色は私の目

常と何も変わらず、だからこそ、
かつてこの場所が一瞬で地獄に
変わったという事実が恐怖を感
じました。また資料館に展示さ
れていた弁当箱や水筒、三輪車
などの遺品からは、亡くなった
方にも私達と同じように大切な
生活があったことを痛感するこ
とになりました。

しかし広島で学んだことは悲
惨さだけではなくありませんで
した。原爆投下からわずか3日後、
焼け野原の中で路面電車が運
転を再開し、傷ついた人々を乗
せて走り出したという「被爆列車」
のお話をガイドさんから聞き、
かしそんな風に「何も考え



令和8年度上平分館および支館スポーツ大会



上平分館の分館加盟は110
戸であり、町の最北端にありま
す。年間事業として支館ペタン
ク大会、納涼祭、敬老祭、常会
対抗ペタンク大会を計画してお
り、はたする祭り、公民館活動、
ほんやり、クラブ活動等に参加
協力をしております。

6月28日(日) 支館スポーツ
大会としてペタンク大会が開催
されました。上平分館は大会前
日に中平直樹コーチの元総員7
名にて2時間の猛練習を行い、
当日臨みました。

高森北小学校体育館で13時か
ら行われ、各分館から120名
余りの方が参加されました。上
平地区は19名と子ども1名が参
加し、その他下平、駒場、山吹
上、山吹中、新田、竜口の7分
館で分館対抗の総当たりで試合
が行われました。

上平分館は、第1戦は新田と
対戦し4-1で勝利、第2戦は
山吹上に1-4で負け、第3戦
は山吹中と対戦し7-1で勝
利、第4戦は竜口に3-4で負
け、第5戦は駒場と6-3で勝
利、第6戦は下平に6-1で勝
利、竜口と同じく4勝2敗の結
果となり、得失点差にて上平が
優勝となりました。熱気の中
でも暑さに負けず、子どもたち
は体育館内を駆け回り、歓声が
響きました。その後は結果発表
表彰、景品をいただき、無事終
了となりました。

お子さんからお年寄りまで多
くの方が参加され、十分楽しま
れたかと思えます。来年もまた
大勢の皆さんのご参加をお待ち
しております。役員の方々お疲
れ様でした。

(上平分館長 小平雅規)

戦国時代の高速通信
武田信玄狼煙上げ

高森町公民館長 芦部 公一

たけだしんげんのろしかい
武田信玄狼煙会による狼煙リレーが8月29日
(土)に行われました。これは伊那谷を治めて
いた信玄が、三河・遠江・尾張の兵の動きを根羽村
の柚路峠狼煙台から甲斐の本拠地躰躰ヶ崎館まで、
狼煙を上げて伝えたという史実に基づき、各地の
狼煙台を經由して現代に復元したものです。第19
回の今年は、5年ぶりに根羽から甲府までつなげ
ようとしたのですが、あいにくの悪天候で中止を
したところもあり、それは実現しませんでした。

高森町では吉田に茶臼山狼煙台があったことか
ら、吉田城址愛護会の皆さんが中心になって行っ
てきました。場所は吉田城山公園です。残念ながら
29日は実施できず、30日に関係者が中心になっ
て狼煙を上げました。天高く舞上がった白い煙
は、遠くからも確認できたことでしょう。



吉田南分館 納涼祭



8月2日(日)、吉田南地区
館にて納涼祭が開催されまし
た。今年度は「子どもからお年
寄りまで参加できる賑やかな納
涼祭にしよう」をコンセプト
に、世代を超えて地域の皆さん
が楽しめる催しが企画されまし
た。

まず始めに9時のスタートに
合わせて地元野菜や果物の販
売が行われた他、「からあげビ
リー」のキッチンカーも出店さ
れ、行列が出来るほどの賑わい
となりました。また、今年も中
学生ボランティアが販売サポー
トを担当し、地域の一員として
活動してくれました。

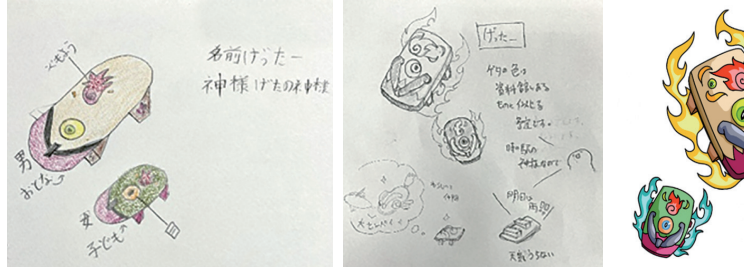
野菜販売が続く中、屋内では
子ども向け企画が始まりまし
た。ストライクボードゲーム・
射的大会と合わせて、保育園以
下のお子さん
も気軽に参加
できるお菓子
釣りゲームも
初めて企画し
、大勢の子
どもたちが夢
中になって楽し
む姿が見られ
ました。

続いて行われ
たのはニュー
スポーツとし
てもお馴染み
のモルック大会です。自由参加
でしたが多くの方がエントリー
され、全6チームが賞品のシャ
インマスカット獲得に向けて熱
戦を繰り広げました。モルック
競技は経験者が多かった他、ス
ポーツ推進委員の方にも協力
いただいたおかげで、スムーズ
な進行ができました。

納涼祭を締めくくる最後のイ
ベントはビンゴ大会です。多く
の方に参加いただき、豪華景品
の当選に大盛り上がりする中、
催しが終了しました。

地域の皆さんが「企画する人」
「参加する人」として一体とな
って作り上げた今回の納涼祭。コ
ンセプト通り、笑顔溢れる賑や
かな夏の一日になりました。次
年度以降も世代を超えた交流の
場となるよう、多くの皆様に参
加いただき、吉田南地区を盛り
上げていければと思います。

(吉田南分館編集委員)



子どもが描いたイラスト⇒学芸員さんによる仕上げ⇒【げたころん】になりました

(編集部長 宮島 慎)

8月1日(土)の夜、高森町
歴史民俗資料館「時の駅」で開
催された夏の特別企画「ナイト・
ミュージアム」に参加してきま
した。当日は小学生20名が集ま
り、「つくもがみ」を題材にし
た肝試しや謎解きゲームを楽
しました。

はじめに怖い話の読み聞かせ
があり、その後肝試しを兼ねて、
子どもたちはベアになって館内
を巡りました。昔の道具が現在
の道具に変えられている場所を
探し謎解きでは、全部で3問が
出題されました。①アイロン、
②竿ばかり、③平板砥石が現在
の物に変えられていることを発見
し、全問正解すると限定バッジ
やカードをもらうことができました。
「つくもがみ」カードを集
めている子どもにとって、とて
も嬉しい体験になりました。ま
た、館長さんが「つくもがみ」の
帽子をかぶって場を盛り上げて
くださり、楽しい雰囲気の中で
イベントが進みました。

さらに、息子が6月に一生懸
命描いた下駄の絵が「つくもが
み」カードになることを教えて
いただき、子どもにとってこの
日一番嬉しい出来事となりまし
た。夜の資料館ならではの少し